

問1 3世紀、邪馬台国の女王であった卑弥呼は、中国の王朝に使いを送り、その皇帝から「親魏倭王」という称号や金印、さらには多くの銅鏡を授けられたと記録されています。このとき、卑弥呼を倭の王として正式に認めた中国の王朝を選びなさい。（2021

年 奈良公立入試 類似）

1. 魏 2. 秦 3. 隋 4. 唐

問2 福岡県の志賀島で発見された、「漢委奴国王」と刻まれた金印に関する記述として、当時の外交関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 長崎公立入試 類似）

1. 中国の王朝である漢（後漢）の皇帝が、倭の奴国の王に与えたものである。 2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が、魏の皇帝から親魏倭王の称号とともに授けられたものである。 3. 聖徳太子が小野妹子を派遣した際、隋の皇帝から対等な外交の証として贈られたものである。 4. 室町幕府の足利義満が、明の皇帝から日本国王として認められた際に授かったものである。

問3 弥生時代に始まった、青銅器と鉄器の使い分けに関する背景について、正しい説明はどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 青銅は鉄よりも耐久性に優れていたため、大規模な土木工事の道具としてのみ使われた 2. 石器から鉄器への移行を嫌った指導者たちが、妥協案として青銅器を儀式に導入した 3. 鉄器が実用的な武器や工具に用いられる一方で、青銅器は主に集団をまとめるための祭礼や権威の象徴に特化していった 4. 青銅器は弥生時代の中頃に全て回収され、その原料はすべて鉄器の製造に再利用された

問4 弥生時代に使用された道具とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 山口公立入試 類似）

1. 稲作が始まった当初は木製の農具が中心であったが、次第に大陸から伝わった鉄器なども使われるようになった。 2. 金属器のうち、青銅器は主に木材を加工するための道具として、鉄器は祭祀用の宝物として使い分けられた。 3. 収穫の効率を上げるために、鉄製の鎌を用いて稲の根元から刈り取る方式がこの時代に確立した。 4. 牛や馬を農作業に利用する牛馬耕が導入されたことで、大規模な水田開発が全国で一斉に進んだ。

問5 佐賀県の吉野ヶ里遺跡のような「環濠集落」が弥生時代に多く見られるようになった背景として、当時の社会状況を説明した記述として最も適切なものを次から選びなさい。（2023年 佐賀公立入試 類似）

1. 稲作が始まり、余剰生産物や土地・水をめぐる集落間の争いが激しくなったため。 2. 大規模な祭祀を行う場所を確保するため、居住区と神聖な場所を区別する必要が生じたため。 3. 大陸から馬や牛などの家畜が導入され、それらが逃げ出さないように囲いを作る必要があったため。 4. 狩猟や採集を中心とした生活から、山岳地帯に拠点を移して生活を守るため。

問6 大陸から伝わった稲作が日本各地に広まったことは、当時の社会のあり方に大きな変化をもたらしました。収穫物の貯蔵という観点から、稲作の普及が社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 収穫したコメを富として蓄えることが可能になったため、蓄えの多寡による貧富の差や身分の違いが生まれた。 2. 食料を保存する必要がなくなったため、人々は定住をやめて獲物を追いかける移動生活へと戻った。 3. 収穫物を平等に分配する仕組みが完成したため、ムラ同士の争いは完全になくなり平和な社会が実現した。 4. 収穫した稲を加工するために、鉄器よりも先に漢字が伝来し、役所による管理体制が全国で確立した。

問7 弥生時代に稲作が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起こるようになりました。集落を外敵からの攻撃から守るために、周囲に深い堀を掘り、木の柵を設置した集落を何と呼びますか。（2024年 沖縄公立入試 類似）

1. 高床倉庫 2. 環濠集落 3. 石舞台古墳 4. 三内丸山遺跡

問8 弥生時代に作られた銅鐸（どうたく）の表面には、梯子がかかけられ、床が地面から高く持ち上げられた建築物の様子が描かれています。この建物が、主に収穫した米を蓄えるために用いられた名称として正しいものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 高床倉庫 2. 竪穴住居 3. 平地建物 4. 石舞台

問9 弥生時代に大陸から稲作とともに伝えられた金属器のうち、強度が非常に高く、主に武器や工具、木製農具の刃先などの実用的な道具として用いられたものはどれですか。（2023年 大阪公立入試 類似）

1. 鉄器 2. 青銅器 3. 打製石器 4. 磨製石器